

6～7月供給の今季地元農産物の「放射能測定結果」をお知らせします！

～「生ブルーベリー」（生産者：柳沼果樹園）は「4.1ベクレル/kg」の検出でした！～

遅くなりましたが、6～7月より今季供給する地元農産物の放射性物質測定結果をお知らせします。

※「検出下限値」に関して、私たちは核種「1ベクレル/kg以下」での測定を行なうと共に、もちろん各生産者は放射性物質「不検出（ゼロベクレル）」を目指し、安心できる商品をお届けしていきます（もちろん測定の結果数値が出た場合でも必ずお知らせします）。

※「検出下限値」は測定機器の精度の違いと、検査時間によって大幅に左右されます。放射線は核種よりランダムに放出されるため、より時間を長く確保した方が精密な下限値となります。あいコープふくしまでは、供給する農産物については外部機関に依頼し、精度の高い「ゲルマニウム半導体検出器」によって測定しています。

原発事故以来、残念ながら「ブルーベリー」に関しては県内外を問わず100ベクレル/kgを超えるような高濃度の放射性セシウムの検出が報告されてきました。除染の困難な山林に囲まれ、傾斜地にある地元生産者・柳沼さんのブルーベリー畑も、移動するセシウムによって脅かされ続けています。しかし柳沼さんは、事故以来、樹木の表皮を削ったり、畑にゼオライトを散布する、汚染水の移入を防ぐ、畑に敷き詰めるマルチや堆肥も、測定し汚染の心配のないものを導入するなど、必死の除染対策を続けてきました。

6月末現在、県内では「西会津」を除きどこのブルーベリーも測定の結果は示されていませんが（※福島県のサンプル測定の検出下限値は核種5ベクレル/kg前後での測定）、今回、柳沼さんの『生ブルーベリー』の測定結果は、「検出下限値1ベクレル/kg以下」にて測定の上、「4.1ベクレル/kg」の検出に押しとどめることが出来ました（※昨年の数値は「17.5ベクレル/kg」）。

もちろん、柳沼さんに限らず各生産者は同様の努力と対策に取り組んでおり、下記の通り、「検出下限値1ベクレル/kg以下」での測定の上「不検出」の結果を得てお届けしていきます。

（ブルーベリーに限りませんが）私たちが生産者に依頼し、測定したサンプルは危険度の高い畑・樹木から採取したもので、お届けするのはその数値以下のものであること、また、数値は“1kgあたり”のものであり、“120gパック”でお届けしている生ブルーベリーは、お子さんたちでも安心して召し上がっていただける数値であると考えます。

単位：ベクレル/kg

商品 (対象試料)	生産者名	産地 (場所)	採取日時	測定結果			
				ヨウ素131	セシウム134	セシウム137	合算値
アスパラ	安藤節子	郡山市 (露地栽培)	5月	検出せず (<0,75)	検出せず (<0,78)	検出せず (<0,70)	—
キュウリ	森農園	須賀川市 (施設栽培)	6月	検出せず (<0,55)	検出せず (<0,56)	検出せず (<0,62)	—
ブロッコリー	岩瀬牧場	須賀川市 (露地栽培)	6月	検出せず (<0,85)	検出せず (<0,85)	検出せず (<0,84)	—
さくらんぼ	吉田果樹園	須賀川市 (露地栽培)	6月	検出せず (<0,70)	検出せず (<0,85)	検出せず (<0,84)	—
トマト	岡部洋一	須賀川市 (施設栽培)	6月	検出せず (<0,57)	検出せず (<0,79)	検出せず (<0,66)	—
なす	八代昌子	郡山市 (露地栽培)	6月	検出せず (<0,67)	検出せず (<0,64)	検出せず (<0,77)	—
ブルーベリー	柳沼果樹園	須賀川市 (露地栽培)	6月	検出せず (<0,63)	1,4 (<0,70)	2,7 (<0,73)	4,1

※尚、「野菜セット・愛菜箱」（福島県愛農会）については、各単品ごとに「検出下限値5Bq/kg以下」にて測定し、不検出の結果を得ています。